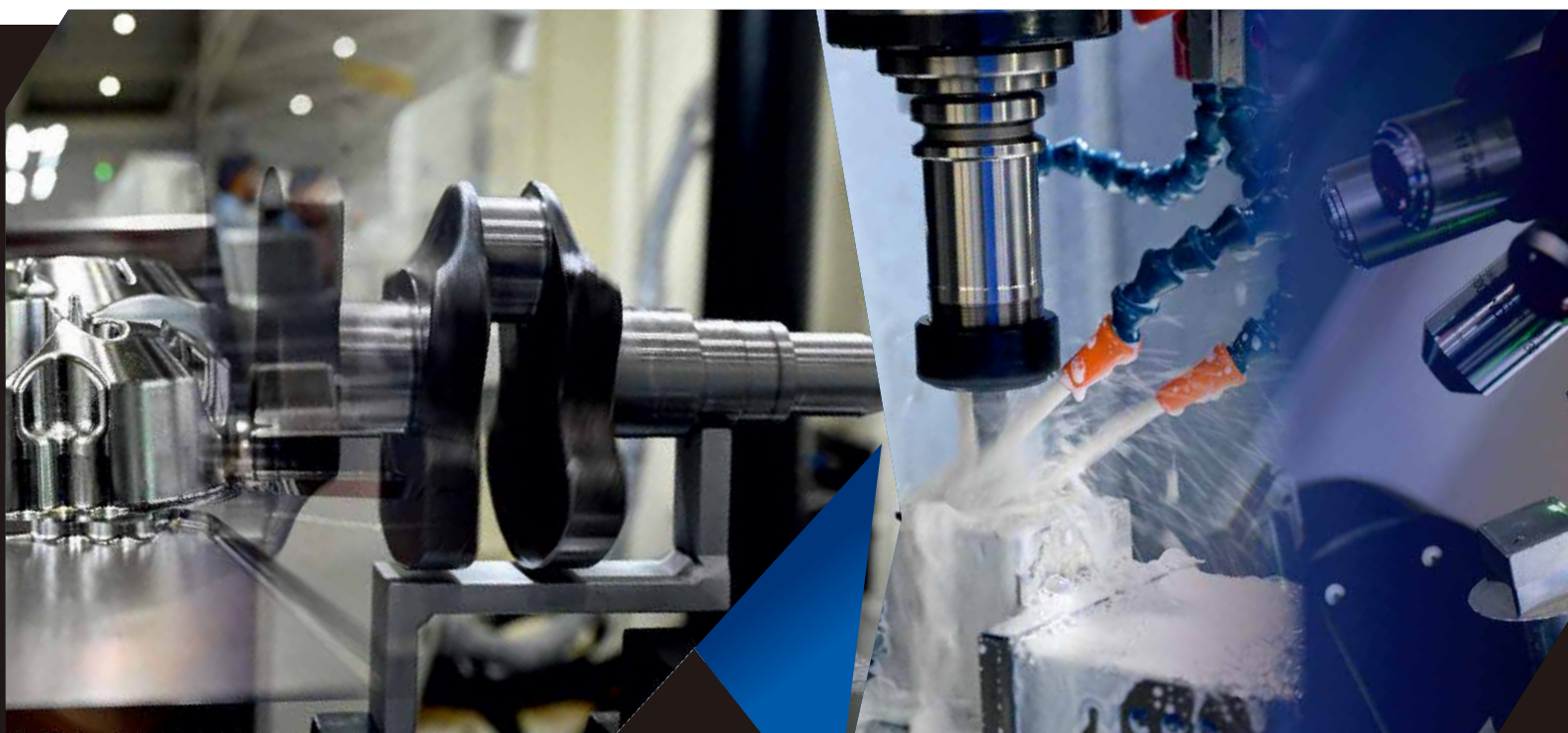




日本パビリオン  
出展募集

# インド最大級工作機械展 IMTEX 2025 (インド工作機械展)



2025年1月23日 (木) ~29日 (水)  
バンガロール・国際展示場 (BIEC)

【主催】



インド工作機械工業会

Indian Machine Tool  
Manufacturers' Association

【会場】



バンガロール国際展覽センター



インド首相：  
ナレンドラ・モディ

## 「メイク・イン・インド」

製造業の発展による経済成長が  
期待される、これからのインド

「メイク・イン・インド (インドでモノづくりを)」を新たな産業政策に掲げ、モディ首相は、製造業を軸とした経済成長を実現しようとしています。政府が規制緩和やインフラ整備に積極的に取り組んでいることから、世界のメーカーがインドでの事業拡大に動き始めています。

【同時開催】



■ ツールテック展示会



■ デジタル  
マニファクチャリング展示会

スペシャルフィーチャー：ロボット / 周辺機器 / 技術

【日本パビリオン共同運営】



一般社団法人  
日本工作機械工業会

日本代表事務局：



特定非営利活動法人 日印ビジネスビューロー

運営：



日印コンサルティング株式会社

# IMTEX 2025 (インド工作機械展)

開催日：2025年1月23日(木)～29日(水)

開催場所：バンガロール国際展示場 (BIEC)

## インド市場で ビジネスチャンスが 見込まれる分野

- ① EV(電気自動車)・EV二輪・三輪車(電気二輪車、電気三輪車)など高い技術力が求められる分野
- ② エレクトロニクス・半導体など需要が高まることが期待できる分野
- ③ 防衛・航空宇宙・鉄道など高い加工技術が求められる分野
- ④ 自動化にかかわる分野
- ⑤ 品質保証・高度な計測機器・センシングにかかわる分野

## インド工作機械・ツール産業

インドは2023年に人口で中国を超えて世界一となり、またそれに伴う経済成長を背景に、工作機械・ツール市場は年率30%近く成長するとみられています。インドの工作機械・ツール市場規模は2022年に14億ドルに達しました。今後、2023年から2028年にかけて市場が9.4%の成長率(CAGR)で推移し、2028年までに25億ドルに達すると予測されています。

\*市場規模と成長：インドの工作機械・ツール市場は、国内外の需要の増加により拡大しており、特に自動車産業、航空宇宙産業、エネルギー産業、産業機械、建設機械などで需要が高まっています。

\*自動車産業への影響：インドは自動車産業も大きく成長しており、この成長に伴い、工作機械・ツールの需要が増加しています。特に、自動車部品の製造に用いられる工作機械・ツールの需要が高いです。

\*政府の政策と影響：インド政府は「Make in India」などの政策を推進しており、国内製造業の強化を図っています。これにより、工作機械・ツール産業に対する投資が促進されています。

\*技術革新とデジタル化：技術革新とデジタル化が進む中で、インドの工作機械・ツール産業も、コンピュータ数値制御(CNC)機械や自動化装置の導入が増加しています。

\*国内外企業の参入：インドには国内外の多くの工作機械・ツールメーカーやサプライヤーが進出しており、競争が激化しています。多くの企業が高品質でコスト効率の良い工作機械・ツールを提供しています。

\*課題と展望：一方で、インフラストラクチャーの不足や技術熟練者の不足、環境への配慮、複雑な規制などが課題として挙げられます。しかし、持続可能な技術の導入やスキルの上昇、国際的な取引拡大などが展望として考えられています。

## インドデジタルマニュファクチャリング産業

新型コロナウイルス(COVID-19)パンデミックは、世界中でデジタル化を加速させ、インドはこの取り組みにおいて重要な役割を果たしてきました。現在、インドにおけるデジタル製造は、世界的なテクノロジーの取り組みと並行して進行しており、規模は限られています。しかし、今後、規模を拡大し、特にテイクオフの準備が整っている中小企業に広く導入される必要があると考えられています。

デジタル製造は、インド政府のインセンティブが産業界の利益と一致していることを受け、産業4.0の未来でインドが世界においてテクノロジーリーダーシップを発揮することが期待されている分野です。

## インドロボット産業

インドの産業用ロボティクス市場の売上高は、2023年には2億2830万ドルに達する見込みです。

また、2028年までの年間成長率(CAGR 2023-2028)が2.96%と予想され、2028年までには市場規模が2億6410万ドルに達する見込みです。

セグメント内での現在の売上分布は、最大のサブセグメントである自動車産業ロボティクスと電気・電子産業ロボティクスの2つがロボティクスセグメント全体の50%以上を占めています。ただし、その他の産業ロボティクスも大きく伸びが予想されており、2027年までには最大のサブセグメントとなると予想されていることから、まだロボットを使用していない産業での自動化の新しいユースケースの巨大なポテンシャルを示しています。

## 展示会開催概要

- 展示会名称：IMTEX 2025 (インド工作機械展)
- 開催期間：2025年1月23日(木)～29日(水)
- 展示会場：バンガロール国際展示場 (BIEC)
- 展示会場規模：約70,000㎡ 出展社数：25カ国・約1200社(予定)
- 来場者数：約100,000人(予定) 入場対象：関連業界人のみ
- 主催：Indian Machine Tool Manufacturers' Association インド工作機械工業会
- 日本代表事務局：特定非営利活動法人日印ビジネスビューロー
- 運営：日印コンサルティング株式会社



## インド工作機械工業会(IMTMA)とは

1946年に設立され、現在460以上の企業が参加しているIMTMAは、インドの工作機械産業の最高機関であり、様々な提唱活動を通じてその発展に重要な役割を果たしています。IMTMAは、先進的な工作機械試験施設や先進製造技術開発センターなどの機関を設立し、カルナータカ州に業界初の機械工具パークを設立するなど、政府と緊密に連携しています。IMTMAは、バンガロール、ブネー、グルグラムのテクノロジーセンターを通じて技術の発展に先駆けており、主要な展示会であるIMTEXは世界有数の工作機械展示会の一つです。IMTMAは製造業の発展を促進するためにセミナーやサミット、地域の展示会も主催しています。IMTMAによって設立された最新の展示会場であるバンガロール国際展示センター(BIEC)は、インドの展示会やイベントの生態系の発展のためのエコシステムとして機能しています。



## 出展対象物



インド工作機械 及び 製造設備展示会

- 工作機械：旋盤、ボール盤、中ぐり盤、フライス盤、マシニングセンタ、研削盤、仕上げ機械、歯切り盤・歯車仕上げ機械、特殊加工機、超精密加工機、その他の工作機械
- 鍛圧機械：油圧プレス、機会プレス、バンディングマシン、せん断機、鍛造機、線材加工機、プレス・鍛造機用付属機器、その他の金属加工機
- 工作機械：工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機器
- 油圧・空気圧・水圧機器 ■歯車・歯車装置
- 機械工具（切削工具・耐摩耗工具）・ダイヤモンド/CBN工具：工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンドおよびCBN工具、サーメット工具・セラミック工具、その他の機械工具
- 切削砥石・研磨材（剤）
- 精密測定機器・光学測定機器・試験機器 ■制御装置およびコンピューターシステム
- 出版物・広報・文献および報道
- その他工作機械に関連する環境対応機器、装置・機器・資材・製品・技術及び情報



ツールテック展示会

- 作業用品：計測・測定器、脚立、砥石、運搬車、作業用手袋、清掃用品、ポータブルバッテリー、投光器、発電機、除雪機・除雪用品 他
- 作業服・作業靴：ワークウェア、安全服、防護服、空調服、防寒服、ツナギ、作業靴・ワークシューズ、足袋、インナー、Tシャツ 他
- 安全・防災用品：安全帯・ハーネス、ヘルメット、ゴーグル、安全靴、安全手袋、防災グッズ、避難セット、防災対策用品、工具セット、保護具、衛生用品 他
- 作業工具：電動工具、エアーツール、油圧工具、自動車整備工具、工具ボックス、ドライバー、ニッパ・ペンチ、レンチ、スパナ、グラインダー、ハンマー、ハサミ・カッター 他
- 園芸・農林道具：のこぎり、チェーンソー、刈払機、草刈機、ヘッジトリマー、スコップ、ショベル、剪定鋏、プロワ、ツルハシ、斧 他
- 塗料・接着用品：外壁塗料、木部塗料、遮熱塗料、刷毛、ローラー、ボンド、瞬間接着材、パテ・補修材、テープ 他
- 建築金物：釘、ねじ・ボルト、ナット、取手、ハンドル、戸車、棚柱・棚受、丁番、掛金、グレーチング 他
- カー用品・自動車工具：ラチェット、ドライバー、ブリヤー、レンチ、キャリア、工具ボックス、補修材、保安用品、バッテリー、ジャンパー 他



デジタル  
マニュファクチャリング展示会

- 3D プリント・積層造形、3D スキャン、先端材料、アセンブリと接合、自動製造とアセンブリ、セラミックス、クリーニングと前処理装置、CNC 制御とアクセサリ、複合材料製造、受託製造サービス、制御、CAD・CAM、冷却水と潤滑油、切削工具・アクセサリ、サイバーセキュリティ、デジタル変革、ドリル・タッピングマシン、EDM、エネルギー・環境効率、環境装置・保護、ERP・MRP・CIM Software、締結、仕上げ・コーティング、フレキシブル製造システム、研削、IIoT (Industrial Internet of Things)、レーザー・レーザーシステム、リーン生産方式、マテリアルハンドリング、計測、検査、試験、金属、計測機器、マイクロマニュファクチャリング、金型製作、ナノテクノロジー、プラントエンジニアリング&メンテナンス、プラズマ切断、プラスチック成形、製造、品質、ロボット、ねじ加工、センサー、ソフトウェア、マシンコントロール、ソフトウェア、工具、ウォータージェットカッティング溶接、労働安全衛生・人間工学 他

## スペシャルフィーチャー ロボット / 周辺機器 / 技術



### ■ 産業用ロボット

- <各種製造用ロボットと応用システム> 樹脂成形、プレス、溶接、塗装、機械加工（ロード・アンソード・切断・研磨・バリ取り）、組立電子部品実装、クリーンルーム、測定・検査・試験・認証、研究・開発・実証、入出荷、マテリアルハンドリング・搬送、仕分け・ピッキング・包装、AGV・AMR 他
- <要素技術・関連機器> 駆動・センサ・制御系、モータ、ジョイント、油空圧機器、アクチュエータ、ロボットアーム、ハンド、電気機器、搬送機器、エンドエフェクタ、センサ、認識技術（画像、音声、接触等）、変速機、減速機、計測機器 他
- <構成要素> 歯車、ねじ、ケーブル、コンポーネント、治具 他
- <人工知能 (AI)> ビッグデータ、クラウド、機械学習・ディープラーニング、制御コンピュータ、ソフトウェア、コントローラ、FA 機器 他



## 展示会コンサルティング 及び 実務サポートのご案内 (展示会 8 か月前からの市場調査)

- ① インド市場のマーケティング、コンサルティング、リサーチ
- ② 展示会の企画、運営、現地現場管理
- ③ 小間のデザイン、レイアウト、制作物
- ④ 輸出入、輸出書類作成、カルネ手配
- ⑤ インド顧客リサーチ、会議中のアポ取り
- ⑥ 会場のアテンダント、通訳手配
- ⑦ セミナー企画、運営、手配
- ⑧ キーパーソン、商社、流通、企業アポ取り
- ⑨ 展示会終了後のフォローアップサポート
- ⑩ 通常、貿易の商流サポート



※ その他会社設立、登記、人材サポート等、お客様のニーズにより対応しています。

## 出展費用

**A パッケージブース** 365USD/m<sup>2</sup> (Min.15m<sup>2</sup>) +TAX

- ① 貴社名の展示会ガイドブック記載
- ② スペース
- ③ 出展者バッジ(数量限定)
- ④ 受付カウンター1台
- ⑤ 会議用丸テーブル1台
- ⑥ 椅子3脚
- ⑦ スポットライト(100w)4個
- ⑧ 電源1ヶ所
- ⑨ ゴミ箱1ヶ所
- ⑩ カーペット



A パッケージブース (最小12m<sup>2</sup>)

**B ロースペース** 330USD/m<sup>2</sup> (Min.36m<sup>2</sup>) +TAX

- ① 貴社名の展示会ガイドブック記載
- ② スペース
- ③ 出展者バッジ(数量限定)



B ロースペース(土地のみ) (最小36m<sup>2</sup>)

※ 上記A,B小間費用にはインド消費税18%が別途掛かります。  
※ 電気料金は別途費用になります。

## 日本パビリオン

### 装飾

■装飾業務  
設計・施工・デザイン/レイアウト・企画運営進行管理・現場監督

### ■その他の関連業務

- 制作物業務  
パンフレット・フライヤー・製品カタログ/パネルデザイン/運営進行管理
- 映像業務  
VJ・ビデオ製作・ナレーション/吹き替え・レイアウト企画運営進行管理
- 運営関連業務  
セミナー・ノベルティ・コンパニオン・通訳・ナレーター・レセプションアレンジ

### 輸送

■日本からの一括輸送を致します。

輸出通関申告費用/税関検査関係費用/税関出張費用/検査立会費用  
カルネ手配費用/船積み諸経費/保税上屋入出庫費/保税上屋運送費  
コンテナ積み込み費/コンテナ維持費/海上運賃/船積書類  
及び通関書類/輸入地費用/維持費/貨物上屋入出庫費  
コンテナ引取費/会場内運搬費/開梱費用/据付補助費  
空箱コンテナヤード運送費/その他現場運営管理費

\*展示会主催者の規定によりオフィシャルフォワードが指定されております。

## 出展までの日程フロー

### 2023年



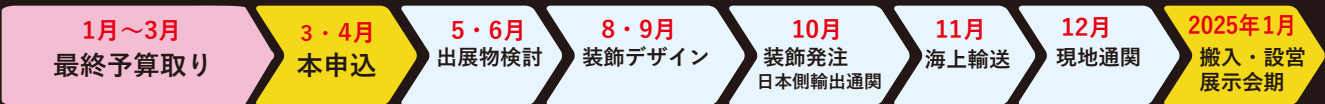
●出展ご検討中の方は仮申し込みを  
おすすめ致します。

※ ノンオブリゲーションで仮押さえさせていただきます。  
※ スペースが無くなり次第、出展募集は締め切らせて頂きます。

【仮申し込み締め切り日】

- 1st: 2024年2月15日(水)
- 2nd: 2024年3月29日(金)
- 3rd: スペースがあれば可能

### 2024年



## 出展申込書

年 月 日

貴社名(英文):

ご住所(英文): 〒

TEL:

FAX:

E-mail:

ご出展物:

パッケージブース (Min. 15m<sup>2</sup>) 365USD/m<sup>2</sup>

室内ロースペース (Min. 36m<sup>2</sup>) 330USD/m<sup>2</sup>

**A** 1小間(15m<sup>2</sup>) × 小間

**B** m<sup>2</sup>

★上記の通り、本展示会に出展申込致します。

責任者サイン:

ご氏名:

会社印

### お申し込み・お問合せ

日本代表事務局 **JIB** 特定非営利活動法人 日印ビジネスビューロー

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-13 溜池鈴木ビル3F  
https://ji-consulting.jp E-mail: info@ji-consulting.jp

担当: 安井 mobile: 090-9325-3456



一般社団法人  
**日本工作機械工業会**

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館1階  
Tel: 03-3434-3961(代表)

E-Mail honda@jmtba.or.jp 担当: 本多